

ぽすとめいとホールディングス(308A)

地域ドミナント戦略で競合優位性。フレキシブルなサービスの横軸と対象年齢層の拡がりの縦軸で成長

TOKYO PRO Market | ヘルスケア施設 | 会社紹介

BLOOMBERG 308A:JP | REUTERS 308A.T

- 「みなさまの笑顔が見たいから～For the Customers～」を企業理念とし、「子ども・保護者のための”第2のおうち”」を保育理念とする。
- フレキシブルなサービスに重点を置く。柔軟なサービスが可能な「企業主導型」と「認可外・事業所内等」は受託運営での展開も行う。
- 放課後児童クラブ開始で提供できる保育サービスの対象年齢層を広げる取組みに注力。岡山県内地域ドミナント戦略で競合優位性を構築する。

同社の事業について

同社事業は、①保育事業、②ビルメンテナンス事業、③コンサルティング等事業から構成される。2024/6期売上構成比は、①86.7%、②12.7%、③0.6%である。特長・強みとして以下の点が挙げられる。

第1に、多様な生活に根ざし幅広いニーズを満たすフレキシブルなサービスに重点を置いている点である。保育事業サービスは施設型保育園の運営とベビーシッター・イベント託児に分類される。2024年8月末現在で22施設の施設型保育園のうち、企業の従業員の多様な就労形態に対応する「企業主導型保育施設」が13施設、認可保育園よりも機動性が高く柔軟な運営ができる「認可外保育施設・事業所内保育施設等」が4施設を占める。これらは自社運営だけでなく受託運営も行うことで事業展開が加速している。政府による「異次元少子化対策」および「働き方改革」に伴って共働き世帯の幅広いニーズにきめ細かく応えられるかどうか成長の鍵を握ると考えられる。「フレキシブルなサービス」に重点を置く同社の経営戦略は時代の流れに沿っている。

第2に、保育サービスの対象となる子どもの年齢層を広げることに注力している点である。同社は2023年4月以降、保護者が昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後に適切な遊びや生活の場を提供する事業の「放課後児童クラブ（学童保育）」を開始。認可保育所が0歳から就学前の子どもの保育、小規模認可保育所が0歳から3歳未満の子どもの保育を対象とする中で、子ども1人当たりに対して提供できる保育サービスの種類および期間を拡張することが業績拡大につながっている。

第3に、地域ドミナント戦略の徹底である。22施設のうち20施設が岡山市、倉敷市、総社市の3市エリアに集中している。規模や資金力に勝り全国展開する同業他社が存在するなかで、これらの地域では知名度やブランドは大手企業も太刀打ちが難しい面がある。2施設がある兵庫県でも同様のドミナント戦略を展開できるかどうか成長への試金石だろう。

業績と見通し

2024/6通期実績は、売上高が前期比9.3%増の13.27億円、営業利益が前期の▲83百万円から30百万円へ黒字転換。主力の保育事業において定員の充足率が高まったことに加え、きめ細かい経費コントロールに努めたことが増収および黒字転換に貢献した。

2025/6通期会社計画は、売上高が前期比0.1%増の1329百万円、営業利益が同46.1%減の16百万円。幅広いニーズを満たすフレキシブルな保育園の新規開設に加え、2023年に開始した放課後児童クラブの受託運営が売上へ寄与する一方、人件費単価上昇に伴う販管費の増加が見込まれる。

業績推移

(百万円未満切り捨て)

事業年度	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6F
売上高(百万円)	660	1,213	1,327	1,329
経常利益(百万円)	-29	-62	61	19
当期利益(百万円)	-2	-92	20	24
EPS(円)	-42.00	-677.00	102.00	102.80
PER(倍)	-	-	12.84	12.74
BPS(円)	323.18	-165.69	118.34	-
PBR(倍)	4.05	-	11.07	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	-

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)



フィリップ証券

A member of PhillipCapital

フィリップ証券株式会社

配当予想(円) - (会社予想)
株価(円) 1,310 2024/12/19(終値)

会社概要

1989年2月に岡山市で設立。社名は「ポジティブな仲間」に由来する。「みなさまの笑顔が見たいから～For the Customers～」という企業理念の下、①社会的意義の高い事業への積極投資と新しい価値の創造による企業価値の向上、②人々の多様な生活に根ざした「フレキシブルなサービス」による顧客満足度の向上、③有能感を得られるチャレンジングな目標達成による従業員満足度の向上の3点を経営方針とする。

保育事業を主な事業とする。その他に、ビルメンテナンス事業とコンサルティング等事業を展開する。

2024年12月19日にTOKYO PRO Marketに新規上場した。

(1)保育事業は、「子ども・保護者のための”第2のおうち”」を保育理念として掲げ、岡山県と兵庫県で、①企業主導型保育施設の運営および受託、②認可保育所、③小規模認可保育所、④認可外保育施設および事業所内保育施設等、⑤放課後児童クラブ、⑥ベビーシッター・イベント託児といったサービスを展開する。

企業主導型保育施設では、地域住民からの要望が多い地域で一定の条件を満たせば地域枠の上限を超えて受け入れることができる弾力的運用を行うなど、柔軟な運営により地域社会に貢献している。

(2)ビルメンテナンス事業は、岡山県内を中心に、地域の不動産事業者や個人のアパート所有者、福祉施設等を主な顧客として、①リフォーム工事、②入退去時修繕、③定期清掃を展開する。

(3)コンサルティング等事業は、岡山県内を中心に主に保育園に関して、代行申請コンサルティング、開園前サポートコンサルティング、顧問契約、企業の従業員向けコンサルティングなどを行うほか、保育園施設および保育士向けの住居施設等の不動産賃貸・管理事業を行う。

企業データ

主要株主(2024/11/28) (%)

1 鈴木 淳 100.00

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として本レポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平 14.1.25)」に基づく表示>

1. フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. フィリップ証券は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定または福岡証券取引所の定める「特例」第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser または F-Adviser、あるいはその両方に就任する旨の契約を締結いたしております。また、フィリップ証券は、東京証券取引所の定める「特例」第135条または福岡証券取引所の定める「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。